様式第１号（第１０条関係）

２０２４年度業務実績報告書

提出日　2025 年 1 月 16 日

１．職名・氏名　教授・石原一成

２．学位　学位　博士、専門分野　学術、授与機関　大阪市立大学、授与年　2001 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 体育実技Ⅰ（1 単位）　1 年次
② 内容・ねらい 大学教育が担う生涯学習機能の考えのもと，生涯スポーツとしてのスポーツ種目を実践することで，スポーツの親しみ方や楽しみ方を学び，大学卒業後も自らが豊かなスポーツライフを設計・実践できる能力を培うことを目指す．協調、協力、他者への配慮など，集団スポーツに内包される構成要素に着目し，集団における行動能力を高めることをテーマに展開する．
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 体育実技Ⅰでは，協調，協力，他者への配慮など，集団スポーツに内包される構成要素に着目し，その実技力を高めることに加えて，集団における行動能力を高めることをテーマに展開している． 教員がウォーミングアップや練習方法を提示する学習活動から，学生主体の学習活動に発展させていくよう配慮している．具体的にはチームごとに設定したその日のリーダーを中心にウォーミングアップ，チーム練習，グループワーク等の学習活動を行い，リーダーシップ，フォロワーシップ，サポーターシップについて考え，実践する機会を提供している． 毎回，受講生は学習活動の記録（自己評価，次週の課題，戦術，学び，感想など）を行い，教員がコメント・アドバイスを記入しフィードバックを行い，双方向授業の基礎づくりを行っている．
① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 体育実技Ⅱ（1 単位）　1 年次
② 内容・ねらい 大学教育が担う生涯学習機能の考えのもと，生涯スポーツとしてのスポーツ種目を実践することで，スポーツの親しみ方や楽しみ方を学び，大学卒業後も自らが豊かなスポーツライフを設計・実践できる能力を培うことを目指す．小人数で気軽に実施でき，生涯スポーツとしても実施可能性の高い個人スポーツを取り上げ，技術的な導入・応用・発展をテーマに展開する．
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 体育実技Ⅱでは，小人数で気軽に実施でき，生涯スポーツとしても実施可能性の高い個人スポーツという構成要素に着目し，技術的な導入・応用・発展をテーマに展開している． 教員がウォーミングアップや練習方法を提示する学習活動から，学生主体の学習活動に発展させていくよう配慮している．具体的にはチームごとに設定したその日のリーダーを中心にウォーミングアップ，チーム練習，グループワーク等の学習活動を行い，リーダーシップ，フォロワーシップ，サポーターシップについて考え，実践する機会を提供している． 毎回，受講生は学習活動の記録（自己評価，次週の課題，戦術，学び，感想など）を行い，教員がコメント・アドバイスを記入しフィードバックを行い，双方向授業の基礎づくりを行っている． 【ゲストスピーカー 4 人】
① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等

体育実技Ⅲ（1 単位）　1 年次

② 内容・ねらい

大学教育が担う生涯学習機能の考えのもと，生涯スポーツとしてのスポーツ種目を実践することで，スポーツの親しみ方や楽しみ方を学び，大学卒業後も自らが豊かなスポーツライフを設計・実践できる能力を培うことを目指す．学外の施設を利用したコースや，季節の特徴を活かして，集中的に技能を取得すること目指したコースを展開する．

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

スクーバダイビングでは，基礎的な知識や技術を学習し，生涯にわたり年齢・体力に応じたスポーツの楽しみ方を養うことに加えて，地域環境の再認識や環境問題への意識付けなどを目指した自然体験型学習や交流プログラムとなるように配慮している．ユニバーサルスポーツでは，子どもや高齢者，障がいのある人など，誰もが楽しめるように工夫されたスポーツについて学び，体験し，理解できるよう配慮している．

【ゲストスピーカー 1 人】
【フィールドワーク 4 件】

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等

スポーツ科学（2 単位）　1 年次

② 内容・ねらい

個人および社会における健康問題を認識するとともに，生涯にわたって運動・スポーツに親しむために必要な科学的知識を学習する．また，生涯スポーツ（スポーツの生活化）の必要性と具体的方策などについても理論的に学習する．

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

運動・スポーツの健康的意義，生涯を通して運動・スポーツとどのように付き合うかということをスポーツ科学の最新動向・理論を踏まえ講義している．

視聴覚教材を多く使い，スポーツ科学の理論と実際の場面がイメージできるように配慮している．パワーポイントを用いた講義に対応した配布資料（資料，穴埋め部分，書き込み部分）を作成している．また，配布資料の冒頭に目的，キーワードを提示し，学生の学習活動がスムースに進むよう配慮している．さらに，体育実技との関連をできる限り図り，講義が実践につながるよう配慮している．

小テストを毎回実施し，学習の理解度を確認しながら授業を進めている．小テストにコメント等を記載し，返却することで，双方向コミュニケーションの一助となるよう配慮している．また，発言やスポーツに関する書籍の読書感想文提出に対してインセンティブを与え，授業活動に積極的に参加することを重視している．学生が発言しやすいように，ワイヤレスプレゼンテーションツールを使用し，教員と受講生との距離が近くなるようにしている．

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等

運動処方論（2 単位）　2 年次

② 内容・ねらい

健康・体力の維持増進，競技力向上のための安全で効果的な運動プログラム作成の基礎について学習する．また，体力測定を行い，自らの体力を診断し，各自の目的に応じた運動プログラムを作成する．

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

健康・体力づくりやトレーニングの方法，運動処方を安全で効果的に行える基礎能力を身につけることができるように，講義だけでなく体力測定や栄養評価などの実習も取り入れ，実践的な学習活動を行っている．

視聴覚教材を多く使い，運動処方の理論と実際の場面がイメージできるように配慮している．パワーポイントを用いた講義に対応した配布資料（資料，穴埋め部分，書き込み部分）を作成している．また，配布資料の冒頭に目的，キーワードを提示し，学生の学習活動がスムースに進むよう配慮している．さらに，体育実技との関連をできる限り図り，講義が実践につながるよう配慮している．

ミニッツペーパーを毎回記入してもらい，学習の理解度を確認しながら授業を進めている．

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
導入ゼミ（1 単位）　1 年次

② 内容・ねらい
「健康を科学する」をテーマに，自分の課題を定める，必要な情報を集める，情報を読み，理解し，考える，そしてその結果を表現し，効果的にひとに伝えるという「実践」の中で，大学での学習に必要な最小限の技術を習得する．

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
「健康を科学する」に関するレポートの作成を通して，学生が自主的学習態度，大学での学習・研究に必要な情報収集能力や自己表現能力，文書作成能力等の基本的技術を身につけることを徹底している．
プレゼンテーションとディスカッションが円滑・活発に進み，学生が学習の幅を広げられるように参加者に役割を設定している．また，プレゼンテーションや配布資料を受講生で合評している．

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
スポーツ健康科学（1 単位）　福井大学　1 年次
スポーツ科学実習 1・2（1 単位）　大阪産業大学　1 年次
スポーツ科学（2 単位）　大阪産業大学　1 年次
運動科学（2 単位）　大阪産業大学　2 年次

② 内容・ねらい
スポーツの実践を通して，身体活動の健康的意義を理解する．また，生涯にわたって運動・スポーツに親しんでいくことのできる態度・能力や身体機能（体力）の向上を目指し，生涯スポーツ（スポーツの生活化）に向けてのきっかけを得ることを目的としている．さらに，受講者間の人間関係の向上やコミュニケーション・スキルの獲得も本授業の重要な目標としている．

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
実技科目では，教員がウォーミングアップや練習方法を提示する学習活動から，学生主体の学習活動に発展させていくよう配慮している．具体的にはチームごとに設定したその日のリーダーを中心にウォーミングアップ，チーム練習，グループワーク等の学習活動を行い，リーダーシップ，サポーターシップについて考え，実践する機会を提供している．講義・演習科目では，実技との関連をできる限り図り，講義・演習が実践につながるよう配慮している．
本学の体育実技，スポーツ科学，運動処方論の授業と強く関連する科目である．本授業を行うことで，本学の授業を相対的に計画していく手がかりが得られる．

(2)その他の教育活動

① 課外活動顧問
剣道部顧問（2024 年度）
スノースポーツ部顧問（2024 年度）

②体育館施設の管理・清掃，学生への使い方指導・助言等
随時，体育館施設の管理・清掃，学生への使い方指導・助言等を行っている．

４．研究業績

(1)研究業績の公表

①著書

【　本】

②学術論文（査読あり）

1．坂井智明・石原一成（2024）健康運動教室開催施設の違いが参加者の特徴に与える影響．名古屋学院大学論集 医学・健康科学・スポーツ科学篇，12，1-11.

*2．石原一成・三村達也・坂井智明・石原礼子（2024）地域在住高齢男性のバランス能力を簡便に評価する継ぎ足歩行テストの提案．福井県立大学論集，61，81-89.

【2 本】

③その他論文（査読なし）

【　本】

④学会発表等

1．坂井智明・石原一成（2024）スポーツ・健康系大学生の高齢者に対するイメージとエイジズム．第 71 回日本教育医学会大会.

2．坂井智明・石原一成（2024）高齢者における歩幅の違いが歩容に与える影響．日本体育・スポーツ・健康学会第 74 回大会

3．柳田昌彦・塩津陽子・渡邊裕也・石原一成（2024）筋力トレーニングの継続は大学アスリートの動脈スティフネスを増大させる．第 78 回日本体力医学会大会.

4．柳田昌彦・炭本佑佳・山縣恵美・岡本智子・渡邊裕也・石原一成（2024）一般地域住民の動脈スティフネスとその関連要因－体力、形態及び血圧を指標として－．第 83 回日本公衆衛生学会総会

【4 件】

⑤その他の公表実績

【　本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

科学研究費

多様な地域高齢者に応じた持続可能な介護予防統合プログラムの提案（2024 年度）

(3)特許等取得

(4)学会活動等

学会での役職など

日本体育測定評価学会理事（2024 年度）

日本教育医学会理事（2024 年度）

日本体力医学会評議員（2024 年度）

学会でのコメンテーター、司会活動

学会・分科会の開催運営

学会誌の査読など

日本教育医学会機関誌「教育医学」査読（2024 年度）

５．地域・社会貢献活動

① 国・地方公共団体等の委員会・審議会
福井県スポーツ推進審議会副会長（2024 年度）
ふくい健康の森（温泉・スポーツ施設）指定管理者外部評価委員会委員長（2024 年度）
福井県地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業 地域スポーツ推進団体連絡会議委員（2024 年度）
福井県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 登録審査委員会委員（2024 年度）

② 国・地方公共団体等の調査受託等

③ （公益性の強い）NPO･NGO 法人への参加
特定非営利活動法人 あすてらすヘルスプロモーション理事（2024 年度）
小郡市総合保健福祉センター（福岡県小郡市）において市民を対象とした各種健康づくり事業を行っている．
特定非営利活動法人 海未来（2024 年度）
海洋環境の保全，自然保護に対する意識の普及をはかり，持続可能な社会作りを目的として，海洋環境の保全及び改善を図るための事業、水中生物保護と再生，研究活動を行う事業，およびこれらの事業内容に対する社会の理解を深める活動を行っている．
福井県レクリエーション協会理事（2024 年度）
レクリエーションに関する活動を行うほか，他団体の支援，会員相互の技能工場，情報交換，親睦等を図り，よって県民の心身の健全な発達や余暇生活の充実に資する活動を行っている．

④ （兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動

⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等

⑥ 公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開講

⑦ その他

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
FD 部会（2024 年度） 発明委員会（2024 年度） 学術教養センター教務・カリキュラム委員会 委員長（2024 年度）
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など